

●例会日 毎週水曜日 PM12:30～1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市朝日1丁目2-29 シグママンション朝日B棟105号 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2022-23年度国際ロータリーテーマ イマジン ロータリー IMAGINE ROTARY

第13回例会 NO. 2577

2022年9月28日(水)

ガバナー公式訪問 合同例会・クラブ協議会



■司会進行 松岡邦佳 S A A

◆点鐘 12時30分

大里光夫会長

◆Rソング斉唱

「奉仕の理想」

◆四つのテスト

堀内正人会員

◆出席 会員42名 ◆出席率 76.92%
出席30名 ◆修正前出席率 80.00%
欠席11名 ◆修正後出席率 85.00%

◆欠席者【敬称略】

佐藤優希・小林千晃・小林裕治・嶋津正和・鈴木隆昌
鈴木秀幸・中野麻美・林田謙志・藤野宏治



ホームページ <https://kisarazueast-rc.jp>

木更津東ロータリークラブ

会長 大里光夫
幹事 石田亨
編集 田口理紗

国際ロータリー第2790地区

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ
地区ガバナー 小倉純夫
ガバナー補佐 梶暉芳

- ◆ゲスト・来訪ロータリアン紹介
 - 大里光夫会長
 - 小倉純夫様
 - 梶暉芳様
 - 芝田安弘様
 - 久佐野博史様
 - 平野弘和様
 - 玄香花様
- ◇ガバナー
- ◇ガバナー補佐
- ◇地区幹事
- ◇地区インターアクト委員長
- ◇第5グループ幹事
- ◇米山奨学生

◆ガバナー挨拶 小倉純夫様



◆ガバナー補佐挨拶 梶暉芳様



◆米山奨学金授与
大里光夫会長より玄香花様へ



◆誕生日祝い 佐藤丈夫会員 (10/3)



◆会長挨拶 大里光夫会長



本日は小倉ガバナーのご来訪に際し、木更津東クラブを代表して心より感謝申し上げます。また芝田地区幹事、梶ガバナー補佐、平野グループ幹事に於かれまして重ねて感謝申し上げます。木更津東クラブの今年度のテーマは「出会いから生まれる奉仕」です。このテーマに至る前、小倉ガバナーのテーマ「ロータリーの仲間と信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えていこう」を自分の中で噛み砕きながら木更津東クラブの活動を派生的に広げていくことを考えテーマを決めました。コロナの感染爆発が起きてから2年が過ぎ、お互いの対面が可能になると、従前は有り前であった人間関係が新しい出会いになると考えておりました。本年度が始まり数か月が過ぎますが、各委員会の皆様が能動的に活動くださり地域奉仕活動の目を育ててくれています。それぞれの出会いを大切にしてくれているものと感じております。このような発想を持たせてく

れたガバナーの指針には心より御礼申し上げます。

本日は富津シティークラブの皆様とクラブ協議会の中で相互理解を深め、ガバナーとの情報交換から新たな奉仕を発想する機会になることと思います。本日はよろしくお願いたします。

◆会長挨拶 富津シティーRC 立石泰之会長



皆さん、こんにちは。わたくしは富津シティーロータリークラブで会長を仰せつかっております立石泰之です。本日のガバナー公式訪問 合同例会を開催するにあたり会場設営をしていただきました木更津東ロータリークラブの皆様、ありがとうございました。ガバナー小倉純夫様、ガバナー補佐 梶暉芳様 ゲストロータリアンの皆様、ご来訪ありがとうございます。

私たちのクラブが今後行います地区補助金を活用するプロジェクトをご報告させていただきます。

「東日本大震災語り部プロジェクト」
～富津市内小中学生に大震災の経験と教訓を伝える～

富津シティーロータリークラブは2011年3月11日に発生した東日本地域における大規模地震による大震災の翌年より宮城県石巻市を訪れ震災からの復興への様子や震災孤児等への支援を継続的に実施してきました。あの震災から11年の月日が経ち、人々の震災の記憶が薄れてきているのも感じます。そのような現状を踏まえ、宮城県石巻市の現地とオンライ

ンを繋ぎ震災遺構で残されている場所から実際に被害にあわれた語り部の方より震災の怖さや震災が起こった時にどう行動すべきか等の生の声を聞いて頂きたいと思います。このプロジェクトにより防災意識の向上が図られ、ご家族やご友人と自然災害に対する備えと震災が起こった時にどうすべきかを考えて頂くこと。そして防災への興味が様々な分野で活躍する未来ある富津市の子供達への夢や目標へのきっかけとなれば幸いです。千葉県知事熊谷俊人様も2019年の台風15号の被害が甚大でしたので「日本一の防災県をめざす」と宣言しております。わたくしは、「東日本大震災語り部プロジェクト」が仲間同士の信頼・友情を繋ぎ、千葉という地域から世界を少しずつでも変える奉仕活動になると思います。本日は、宜しくお願致します。

◆幹事報告

石田亨幹事



1. 第4回理事会報告

出席者 8名+事務局1名

審議事項

- ① 11月移動例会（さくら植樹&太田山清掃）の企画書案について
→承認されました。
- ② 太田山公園と恋の森をきれいにする会とインタークラブとの連携について
→承認されました。
- ③ 米山記念奨学生について
→承認されました。
- ④ 11月例会変更について
→承認されました。

2. 幹事報告

- 1) 10月米山奨学会への寄付金のご案内をいたしました。11月末頃まで受け付けておりますので、引き続きよろしくお願いたします。また、11月にロータリー財団への寄付のご案内も予定しておりますので何卒ご協力くださいますようお願いいたします。
- 2) 太田山公園清掃活動についてご案内を回覧いたします。
3. 他クラブからのお知らせ
 - 1) 君津 RC「週報」が届いておりますので回覧いたします。
4. その他のお知らせ
 - 1) 「世界ポリオデー啓蒙イベント」についての募金額を先週回しました、募金総額23,000円でした。ご協力ありがとうございました。
5. 回覧
 - ・ 太田山公園清掃活動について
 - ・ 君津 RC「週報」

◆幹事報告 富津シティRC 阿部信一幹事



1. 研修系3委員会合同セミナー報告

10/1に開催された研修系3委員会（ロータリー情報委員会、職業奉仕委員会、ロータリー研修員会）合同セミナーでのポイントは以下の2点です。【テーマ】もっとロータリーを知り、もっと元気なクラブを目指そう

 - ① “ロータリーを知る⇒ロータリーを好きになる⇒ロータリーを楽しむ⇒ロータリーをもっと知りたくなる”というサイクルを回しクラブの活性化を図る。それにはクラブ研修を充実させて基本的な情報や活動を知る必要がある。研修会や卓話を活用して推

進んで欲しい。

- ② 長期計画（クラブ数値目標）を全員で議論し、PDCAを回すことが大事である。その過程で会員同士のコミュニケーションができ、クラブ活動が活性化される。

2. 各種活動参加の日程調整

10～12月は地区の行事、プロジェクト活動が予定されている。できるだけ日程調整を事前に実施して参加をお願いします。

◆転勤のご挨拶

佐藤丈夫会員



◆ご挨拶

竹川佳孝様



◆ニコニコボックス報告

親睦出席委員会 大岩もえ会員



◇佐藤丈夫会員

最後の出席となります。最後まで誕生祝いまで頂きまして大変ありがとうございました。2年8ヶ月と長い間、本当に本当にありがとうございました。

◇大里光夫会長

小倉ガバナーの来訪に感謝致します。

◇梶暉芳様

◇山田修平会員

小倉純夫ガバナーには私共のクラブに公式訪問にお出で頂きありがとうございます。よろしく御指導下さい。

◇渡辺慎司会員

香花さん誕生日おめでとうございます（来週ですが）。また、10月26日に富津シティさんに香花さんが卓話をさせていただきます。よろしくお願いします。

◆出席報告

大岩もえ会員

◆ニコニコボックス報告

富津シティ RC 江藤康子様



■例会アワー

◇卓話者

ガバナー 小倉純夫様



「これからのロータリーを考える」

～本年度RIテーマと地区活動方針について～

1. 本年度 RI テーマと地区活動方針について

- ・ 2022年度 RI 会長ジェニファー・ジョーンズ氏 (RI 初の女性会長) は、本年度テーマを **IMAGINE ROTARY** (イマジン ロータリー) として、「より良い未来をイマジン (想像) し、世界により良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて本年度地区スローガンとして次のとおり決定。「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えてゆこう！」
- ・ 従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」は、第2スローガンとする。ロータリーの基本は親睦 (fellowship) と奉仕 (service)

2. ガバナーの任務・役割について

- ・ クラブの活性化, 元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為の DLP, CLP の活用→クラブ, 会員が 主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討 (ビジョンと行動計画)
- ・ グループ再編問題, ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと
地区とクラブとのコミュニケーションの在り方, 信頼関係の再構築
職業奉仕の大切さ (四つのテスト), クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認
例会は心のオアシス (佐藤千寿氏)
- ・ コロナ禍の中でのロータリー活動 (パンデミックの教訓)

2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず (第7波の到来) →クラブ例会・行事等の中止 (又はオンライン化) →親睦奉仕活動の停滞, 会員の減少

→最近の感染者激増→コロナとの共生 (会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)

3. ロータリーの歴史を振り返る

- ・ 1905年→親睦と相互扶助から出発 (一業種一会員制) →社会奉仕の考え→四 (五) 大

奉仕へ

- ・ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集り（ロータリーの友6頁）
- ・ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方 セントルイス大会決議23-34 ロータリーの奉仕の基本理念の確立

- ・ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」（Enter to Learn, Go forth to Serve）

例会（親睦）→出会い、交流（切磋琢磨）
→人間としての成長＝信用→安定した経営奉の実践

- ・日本のロータリーは周回遅れか？（ガラパゴス化）

Vocational Service（職業奉仕）に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」

4. ロータリーの変化とその対応

- ・2001年：一業種一会員制の撤廃 2013年：職業のない人の入会資格を認める
- ・ロータリーのライオンズ化(団体寄付中心) I serve から We serve へ
- ・2016年の規定審議会一柔軟性の採用 {例会と出席} {会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる
- ・2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認 メーカーアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分類の制限撤廃、ローターアクトクラブに

RI加盟を認める

- ・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか？
→RIの危機感（会員の高齢化、減少）→北米、日本等での会員の減少とインド、ヨーロッパ、韓国での会員増加（別紙）→悪循環か？

RIとTRFの一体化→{•いずれライオンズクラブとの合併か？•地域に応じた自治権、

裁量権を認める方阿？

5. これからのロータリーについて

- ・ロータリーの目的、四つのテスト、中核的価値観（親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ）は不変
- ・ロータリーのビジョン声明、行動計画、DEI（多様性、公平性、包摂〔生〕の提唱
- ・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確(北米の会員の急減が実施の理由か) 2つのパイロット地区で実施(2022年4月規定審議会決議)

6. アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか

→例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ、女性だけのクラブ、若者や老人だけのクラブ等

元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは？→CLPの活用

1) クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定(毎年の見直しとチェック)

2) 会員同士の交流を深める(クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る)

3) 会員の積極的参加を促す(例会、奉仕活動)財団の補助金を利用して会員全員で奉仕プロジェクトを策定し、奉仕の意識を養い、それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動

4) 会員の増強(退会防止)若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する

5) クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施

6) ITの推進(コロナ禍での例会の在り方を再考する)

7. 最後に



DISTRICT 2790 ROTARY INTERNATIONAL

2022~2025
国際ロータリー 第2790地区戦略計画(草案)
2022.7.9. 地区戦略計画委員会

我が地区のリソース

当地区は首都圏の一角にありながら、海岸線等の美しい水辺と緑豊かな山々の豊かな自然に恵まれています。東京近郊の都市部と沿岸部に個性の差はあれども、クラブはそれぞれ多様性を発揮して、地域社会のリーダーとして活動しています。地区リーダーはロータリーの目的に従って、地域社会と国際社会に良い変化をもたらす活動に取り組んでいます。ロータリアンは、地区ビジョンを共有しクラブ戦略目標に従って、地域社会に元氣と勇氣を創出します。

我が地区のビジョン宣言

私たちは、ロータリーの「奉仕の理念」に基づき、
ロータリーを楽しみながら、地域社会でそして世界で、
持続可能なより良い未来を目指して、奉仕を実践し、行動して行きます。

地区戦略目標

- 1 会員基盤の向上
- 2 奉仕活動の推進
- 3 公共イメージと認知度の向上
- 4 ロータリー財団・米山記念奨学会への協力と活用

地区行動指針

- 1 クラブを元気にするために、DEI文化を尊重しながら会員基盤を拡充しよう
- 2 地域社会の将来を担う青少年育成活動に取り組もう
- 3 中核的価値観に従って行動し、ロータリーの公共イメージを向上させよう
- 4 地域及び国際社会のニーズに沿った奉仕活動を考え、手をつなごう

以上

15

◆点鐘 大里光夫会長 13時30分

■クラブ協議会

◆合同クラブ協議会 進行 松岡邦佳 SAA

◇ガバナー挨拶 13:45

小倉純夫様



◇開会の言葉 13:40

大里光夫会長

◇ガバナー補佐挨拶 13:55

梶暉芳様



◇グループディスカッション 14:10

円卓にて木更津東・富津シティ合同

テーマ『元氣なクラブ実現を目指して』

討議の柱

- ① 会員相互の交流を深めるためには
- ② クラブの奉仕活動を通して
- ③ ロータリー活動を地域に広めるためには



◇発表・質疑応答 ① 14:10

近藤直弘 クラブ管理運営委員会委員長



元気なクラブを目指すために会員相互の交流を深める機会を増やす、そのためには幅広く多くの人が交流する機会作る必要があると考えます。委員会内の交流、委員長副委員長同士の横の交流、同世代の交流、長く経験のあるメンバーとまだ経験の浅いメンバーの勉強の機会、等々様々な機会を作る必要があると思います。

具体的には、

- ・ 座る席を変えていく。ただし、目的は会話の機会を増やし交流を深める事なので、1カ月毎に変更し1カ月間の席固定をする。変更の仕方としては、1回目は委員会ごとに分かれ、2回目以降はくじで決めるなどが考えられる。
- ・ やはり夜にゆっくりと集まって飲食をしながらだと親近感が生まれる。ただし、昨今女性会員も増え、また多様な業種も増える中で、夜の参加は難しいというメンバーも増えてきているので、昼夜問わず親近感の生まれる機会をあらたに作る事が重要。
- ・ メンバーそれぞれがどのような仕事をしているかをより知ることでお互いの仕事にも生かせる機会も増え仕事上での交流も深め

られる。例えば、毎例会で2~3分自分の仕事の紹介のコーナーを作るとか、例会ではなくてもメンバー同士で個々の職場に見学や体験ができる仕組みなどを作るなど。

- ・ 会員の人数が少ないからこそ、例会に出席すれば交流は深まるので、例会の内容を工夫することで出席率を高めることが重要。

発表・質疑応答 ② 14:25

宮寺順子社会奉仕プロジェクト委員長



木更津東ロータリーの奉仕活動は、太田山公園において 桜の植樹活動・太田山公園の清掃活動・図書館への寄付・ボーイスカウトへの寄付・インターアクトとの交流・年末募金・ウクライナ支援のひまわりを送る。等の活動をしています。しかしコロナの影響もあり、メンバーが参加できる活動は現在桜の植樹や清掃活動位となっており、プレジョブなどは活動そのものができなくなっています。コロナ次第ということもありますが、会員全員が参加できる奉仕活動を今後増やしていくべきであると考えます。その中でヒントになる点は、木更津東ロータリーの紹介で、太田山をきれいにする会の清掃活動に木更津総合高校のインターアクト部が参加することになりました。やはり、ロータリーが地域の色々な団

体をつなげロータリーだけでなく、広く世間を巻き込む活動をしていくべきであると思われました。また今年度より骨髄バンクの登録者を一人でも多く増やす活動のご協力をしていきたいと考えています。

次に富津シティロータリーさんのご活動をお伝えします。2ヶ月に1度、早朝例会で清掃活動を行っている、現在のコロナ化の状況で難しいですがベトナムに出向き孤児の支援活動を行っている。今年に限っての活動にはなるが、震災の語り部を小学校と中学校で行い、その際父兄の皆様にも聞いて頂く努力も進めている。また富津ふれあい公園で桜の植樹と整備を兼ねて親睦のお花見会を実施している。

以上、社会奉仕プロジェクト委員会より報告です。

◇発表・質疑応答 ③ 14:40

富津シティ RC 和田充敏 副会長



前回の協議会内容を振り返り、改めて両クラブの共通点3点を確認致しました。

2) SNS等のメディアを活用した活動の周知。

両クラブともHPやFacebookを活用あり

3) 他団体との共同による奉仕活動により双方団体の活動の周知。

木更津東RCでは、太田山清掃活動を「太田山をきれいにする会」のみなさんと活動。

4) 若い世代への参加しやすい奉仕活動の推進。

木更津東RCでは、木更津総合高校インターアクトとの協働での奉仕活動を実施。

富津シティでは、インターアクトやRYRA

への積極的な参加により若い世代が参加しやすい奉仕活動を検討したい。

以上の共通点から他団体や一般の方、若い世代の参加しやすい奉仕活動を創出することによりロータリークラブ以外からの活動の周知をしてもらえるようにすることが更なる奉仕の拡大を図れるのではないかと思います。

また今年度実施される第5グループ内での統一した奉仕活動「アクアラインマラソン参加者へブルーベリーを配り喉を潤して頂く活動」も地域に根差したインパクトのある奉仕活動でありマラソン参加者からも活動を周知して頂ければ大きな広報となりうると思う。

最後に個人的な意見ではあるが、活動を広めることも非常に大事だが会員全員が奉仕活動に携わり達成感を共有することができれば更なる奉仕の拡大と地域へのロータリークラブの認知が広まるのではないかと思います。

◇ガバナー講評 14:55

小倉純夫様



◇閉会の言葉 富津シティ RC 立石泰之会長

